

こ ぎ こ 小 木 の 子



富士第二小学校
学校だより
平成29年 3月 15日



「大切なものは目に見えない」「まず、最初の一歩を」

授業日数204日、666名の児童と50名の教職員で「あいうえお」日本一の学校を目指してスタートした本校の教育活動もいよいよ残り3日で終わろうとしています。

「富士山集会」や「地域の方々に感謝する会」、「6年生に感謝する会」、「卒業式の総練習」を見るにつけ、あらためて子どもたちの成長を感じ、喜びで胸がいっぱいになりました。保護者の皆様や地域の皆様、事業所の皆様には、1年間、ご理解ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉どおり、春分の日前後のお彼岸を目安に、暖かい日差しが私たちを包む春がやってきます。

彼岸というのは、「迷いの此の岸より、悟りの彼の岸に倒れる」という教えの中に出てくる言葉です。

此の岸とは、「俺が、私が…」と自分の思うようにしようと強く言い張ったり、他人の迷惑を顧みず、自分の損得ばかり考えて行動したりする世界です。

彼の岸は、それとは対極の世界です。怠けたり、欲深い考えを起こしたり、人を恨んだり妬んだりすることのない平和な世の中のことです。

大人も子どもも、ともすれば忙しい生活に追われ、自分を振り返る心のゆとりを忘れがちです。時には、自分さえよければ、あいつのせいで、と独りよがりになることもあります。

進級、進学に当たって、これまでの自分自身を振り返り、今の自分があるのは、家族をはじめ、友達、地域の皆様など、多くの方々の支えのおかげであることを忘れず、新たな一歩を踏み出してほしいと思います。

また、「大切なものは目に見えない」。だからこそ、目に見える表面的なものだけではなく、想像力を働かせて、心の目をしっかりと見開いて、親子で、新たな目標に向かって取り組んでほしいと思います。

おかげをもちまして、平成28年度が無事に終えることができますことを心から感謝しつつ、平成29年度も「自分が好き、友達が好き、先生が好き、学校が好き、地域が好き、そして誰もが輝く富士二小」を目指して、教職員一丸となって取り組みます。

今後とも本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

大切なものは目に見えない

じゃあ秘密を教えるよ
とても簡単なことだ
物事はね、心で見なくてはよく見えない
一番大切なものは目に見えないんだよ

サン＝テグジュペリ「星の王子さま」より

私たちは、日々多くの人々に支えられて生かされ、また、多くの人々を支えて生きているにもかかわらず、自分につながる多くの人々に思いを馳せることを忘れがちです。

一人一人にはそれぞれ家族があり、歴史があります。

目に映るものにばかり惑わされることなく、一人一人の思いを心の目で見て感じ、思いやりの心を大切にしたいものです。



子育てポイント 人は愛されて人になる

子どもたちの生きるための権利、それは「食べて、寝て、遊んで、愛されること」。食事を作り、ぐっすり眠り、元気よく遊び、愛された子どもが大人になれると言います。

おやこんぼやファミリー弁当も、家族と触れ合い、愛される体験の一つになれば幸いです。

大人が変わらなければ子どもは変わりません。日々の小さな積み重ねが、子どもをよりよく伸ばします。

まず、一歩を踏み出したいですね。

